



Treasure Academy Advanced Program

Index

コースタイトル	期間	ページ番号
アドバンスプログラム概要		3
CDP Implementation (CDP 実装) コース	9h+演習	6
Audience Studio Tool Master (AS 活用)コース	9h+演習	8
Audience Studio Implementation (AS 実装)コース	9h+演習	10

アドバンスプログラム

CDP 人材のスキルを次のレベルに

アドバンスプログラムは、レギュラープログラムを受講済みまたは同等のスキルを持つ方を対象にしたトレーニングです。現在3つのコースが用意されており、エンジニアを対象とした CDP 実装コースとオーディエンススタジオ実装（詳解）コースでは、本番環境で求められる CDP の構築スキルを短期間で習得できます。マーケターなどの利用者を対象としたオーディエンススタジオ活用コースでは、オーディエンススタジオのさまざまな機能を駆使して、CDP に蓄積された顧客データを活用する方法を学びます。いずれのコースにもハンズオン形式の実践的な演習が豊富に用意されており、CDP の知識を実践へと活かす場を提供します。

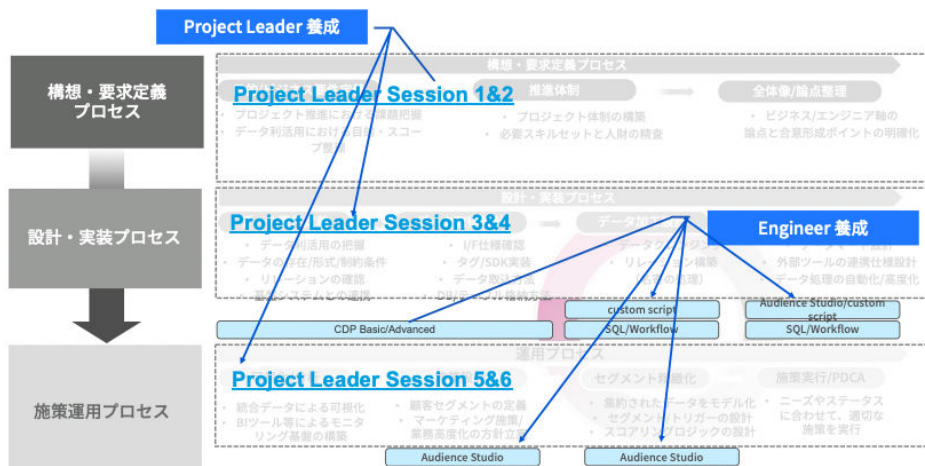
アドバンスプログラムのカリキュラム全体像

アドバンスプログラムは、現在以下の3つのコースが用意されています。

- CDP 実装コース
- オーディエンススタジオ実装（詳解）コース
- オーディエンススタジオ活用コース

レギュラープログラムとアドバンスプログラムの提供範囲はそれぞれ次のとおりです。

- レギュラープログラム

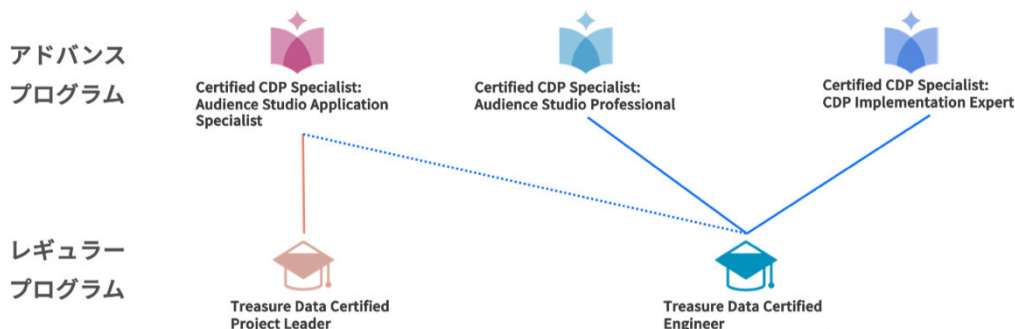


- アドバンスプログラム



「オーディエンススタジオ活用」コースでは、シナリオベースでオーディエンススタジオのさまざまな機能を学習し、CDP に格納された顧客データを最大限に活用するためのノウハウが習得できます。「オーディエンススタジオ実装」コースは、「オーディエンススタジオ活用」コースの内容を理解しているエンジニアが、バックエンドの動作やデータ、権限管理などの仕組みを身につけることができます。「CDP 実装」コースは CDP の実装に焦点を当てており、データ収集、加工、施策ツールへの出力を行う CDP 環境を構築する上で必要なスキルを短期間で取得できます。詳細は各コースの資料をご覧ください。

認定資格試験



アドバンスプログラムの認定資格はレギュラープログラムの上位に位置づけられており、各認定資格を取得した方は「Certified CDP Specialists」として認定されます。認定資格試験に合格した方には資格証が発行されます。

アドバンスプログラムの認定資格試験はハンズオン形式による試験、または記述式の試験となっており、制限時間内に用意された課題に対して一定以上の得点を得る必要があります。これにより、認定資格取得者は知識だけではなく実践的なスキルを持っていることが証明されます。なお、アドバンスプログラムの認定資格試験はトレーニング費用には含まれておりません。

(認定資格の有効期限は2年間の予定です)

アドバンスプログラムのコース内訳

No	科目	講義時間の目安(h)	エンジニア CDP実装	エンジニア AS実装	マーケター他 AS活用	認定試験	備考
1	CDP実装コース					別途	講義時間は9時間、加えて事前課題等に3-6時間程度が必要
	オリエンテーション、事前課題について	2-3h	○				
	Treasure Data CDPにおけるデータフロー	6h	○				
	ストリーミングによるデータの取り込み		○				
	バッチによるデータの取り込み		○				
	Treasure Data CDPでのデータ加工		○				
Treasure Data CDPからのデータの出力	○						
2	オーディエンススタジオ活用コース					別途	本講義は9時間。加えて事前課題等の時間が必要 AS実装コースと共通講義あり、聴講可。動画も用意。
	オリエンテーション、活用ガイド	2-3h		○	○		オーディエンススタジオ実装コース共通
	デモアカウントツアー			○	○		
	ペアレントセグメント / データエンリッチメント	6-8h		聴講可	○		オーディエンススタジオ実装コース受講者も聴講可能
	バッチセグメント / セグメントエディタ		聴講可	○			
	リアルタイムセグメント		聴講可	○			
	Profile API Token		聴講可	○			
	予測スコアリング			聴講可	○		
	ジャーニーオーケストレーション			聴講可	○		
アクティベーション			聴講可	○			
3	オーディエンススタジオ詳解コース					別途	
	ペアレントセグメント / データエンリッチメント (詳解)	6-8h		○			オーディエンススタジオの各機能の基礎知識を必要とするので、活用コースの聴講を強く推奨
	バッチセグメント / セグメントエディタ (詳解)			○			
	リアルタイムセグメント (詳解)			○			
	Profile API Token (詳解)			○			
	予測スコアリング (詳解)			○			
	ジャーニーオーケストレーション (詳解)			○			
	アクティベーション (詳解)			○			
バックエンドのテーブル、WF一覧			○				

販売形式

各コースに必要なトレーニングユニット（TU）を事前にご購入いただきます。詳細は営業担当までお問い合わせください。

（各コースには認定試験が1回含まれています）。

- CDP 実装コース： \$2,000
- オーディエンススタジオ活用コース： \$2,000
- オーディエンススタジオ実装コース： \$2,000
- 各認定資格試験：\$300

受講方法

一部の科目を除いて講義はオンライン形式で提供します。都合の良い日程の講義にご登録いただき、講義当日は Zoom を使用してオンラインで受講していただきます。一部の講義はビデオも用意されています。

CDP 実装コース

エンジニアコースを受講した方や同等のスキルを持った方を対象に、Treasure Data CDP にさまざまな手法でデータの取り込みや加工、出力を行うための方法を理解し、ハンズオン形式の演習問題を通して受講者毎に用意された演習環境に CDP を実装します。

コースの概要

- Treasure Data CDP の実装に必要なデータシステムを理解し、データ要件定義、「レイヤー」の考え方について理解する
- JavaScript の SDK(JS-SDK)、 Postback API を使用して、Treasure Data CDP にストリーミングでデータを取り込む方法を理解し、実装する
- Integrations Hub、Treasure Workflow を使用したデータの取得と自動化の方法、Custom Scripts を用いた REST-API 経由でのデータの取得、GitHub Actions を使った CI/CD 環境の構築方法を学ぶ
- Treasure Data CDP に取り込んだデータを、SQL を用いてクレンジングやデータ統合を行う方法を理解し、実装する
- Treasure Data CDP から BI や施策ツールへのデータ出力について学習し、実装する

前提条件

Treasure Data Certified CDP Engineer 養成コースを受講、または同等のスキルを持っていることを推奨します。

コースの内容

1. Treasure Data CDP におけるデータフロー

- Treasure Data CDP におけるデータシステムの理解、およびデータの入力、処理、出力
- クイズ
- Treasure Data CDP における「レイヤー」の考え方
- クイズ

2. ストリーミングによる Treasure Data CDP へのデータの取り込み

- JS-SDK によるウェブログの収集
- ガイド付き演習：JS-SDK による WEB ログの収集
- Postback API と Pixel Tracking
- ガイド付き演習：Postback API の確認
- ガイド付き演習：Pixel Tracking を実装する

3. バッチによる Treasure Data CDP へのデータの取り込み

- Integrations Hub によるデータ取り込み
- ガイド付き演習：Integrations Hub によるデータ取り込み 1(SFTP)
- ガイド付き演習：Integrations Hub によるデータ取り込み 2(Google Sheet)
- ワークフローを使用したデータ取り込み

- ガイド付き演習：ワークフローを使用したデータ取り込み
- ワークフローを使用した高度なデータ取り込み
- ガイド付き演習：ワークフローを使用した高度なデータ取り込み
- Custom Scripts を使用したデータ取り込み
- ガイド付き演習：Custom Scripts を使用したデータ取り込み
- GitHub Actions を使用した継続的デリバリー環境の構築
- ガイド付き演習：GitHub Actions を使用した継続的デリバリー環境の構築

4. Treasure Data CDP でのデータ加工

- Treasure Data CDP からのデータの出力
- ガイド付き演習：データ加工用データセットの準備
- データ加工（クレンジング）
- ガイド付き演習：データ加工（クレンジング）
- データ加工（データ統合）
- ガイド付き演習：データ加工（データ統合 1）
- データ加工（データ統合 2）
- ガイド付き演習：データ加工（データ統合 2）
- その他のデータ加工

- ガイド付き演習：その他のデータ加工
- 施策ツールに合わせたデータ加工（レイヤー2）
- ガイド付き演習：施策ツールに合わせたデータ加工

5. Treasure Data CDP からのデータの出力

- Treasure Data CDP からのデータの出力
- クイズ
- ガイド付き演習：SQL を使用した施策ツールとの連携
- ガイド付き演習：Treasure Workflow を使用した施策ツールとの連携

6. Appendix A：データセットのリファレンス

- データセットのリファレンス

7. Appendix B: 演習で利用する外部サービス

- 演習で利用する外部サービス
- 演習に必要なサービスのセットアップ
- ガイド付き演習：静的ウェブサイトのデプロイ
- ガイド付き演習：ショッピングカート(SnipCart)の設定
- ガイド付き演習：施策ツール(MailChimp)の設定
- Google アカウントの確認

オーディエンススタジオ活用コース

ビジネス開発者、マーケターなどを対象に、オーディエンススタジオのあらゆる機能の把握と活用方法を学びます。実際のユースケースに近い顧客データを利用するため、Web+EC サイトである TREASUREBIKES ウェブサイトのデータセットを使用し、オーディエンススタジオを用いてデータの活用を行います。本コースでは、オーディエンススタジオの最新バージョン(v5)を使用します。

コースの概要

オーディエンススタジオ活用コースでは、オーディエンススタジオの活用方法に加え、オーディエンススタジオの機能別に活用方法を理解できます。

- オリエンテーション
 - デモアカウントツアー
 - TREASUREBIKES 紹介
- オーディエンススタジオ機能
 - オーディエンススタジオ活用ガイド
 - ペアレントセグメント/データエンリッチメント
 - バッチセグメント/セグメントエディタ
 - リアルタイムセグメント
 - Profiles API Token
 - 予測スコアリング
 - ジャーニーオーケストレーション
 - アクティベーション

前提条件

Treasure Data Certified CDP Project Leader 養成コースを、Treasure Data Certified CDP Engineer 養成コースの受講、または Treasure Data CDP およびオーディエンススタジオの基本的な知識を持っていることを推奨します。

コースの内容

オリエンテーション

1. オーディエンススタジオ活用：基礎編

- オーディエンススタジオの立ち位置
- TREASUREBIKES ツアー/バッチセグメント作成
- ペアレントセグメント紹介
- オーディエンススタジオ活用：応用編
- データエンリッチメントの活用
- ジャーニーの活用
- 予測スコアリングの活用
- ネクスト・ベストの活用

オーディエンススタジオ活用編

1. ペアレントセグメント / データエンリッチメント

- ペアレントセグメント
- プロファイル
- 実践パート：
 - バッチセグメントの作成
 - バッチセグメントの確認
 - データエンリッチメント

2. バッチセグメント / セグメントエディタ

- TREASUREBIKES-ステージアップに必要なアクション
- ステージアップ手順

3. リアルタイムセグメント

- リアルタイムセグメントとは
- リアルタイムビヘイビアと認識される td カラムとルール
- 実践パート：
 - リアルタイムセグメントの作成
 - Profile API Token の利用

4. Profiles API Token

- Profiles API Token とは
- オーディエンススタジオからのアウトプット方法
- Profile API Token の注意点
- 実装パート：
 - Profiles API Token の作成

5. 予測スコアリング

- 予測スコアリングとは

- 予測スコアリングの特徴と注意点

- 実装パート：

- アクティビティの推移
- マスターセグメントの作成
- セグメント作成
- 予測スコアリング
- 応用編

6. ジャーニーオーケストレーション

- ジャーニーオーケストレーションとは
- オートメーション
- 実装パート：
 - ジャーニーオーケストレーションの作成と起動

7. アクティベーション

- アクティベーションの設定-アウトプットマッピング
- 実践パート：
 - いくつかの連携ツールを試す

オーディエンススタジオ実装コース

エンジニア、開発者を対象にして、活用のみならずオーディエンススタジオのバックエンドを理解します。オーディエンススタジオを使いこなすには活用方法だけでなく、エンジニアはデータの準備やペアレントセグメントの構築、バックエンドシステムの動作を理解しておくことが重要です。

コースの概要

オーディエンススタジオ活用コースの内容に加えて、バックエンドの理解を深めます

- オーディエンススタジオ活用ガイド（コース共通）
- オーディエンススタジオの様々な機能のバックエンド理解
 - ペアレントセグメント/データエンリッチメント
 - バッチセグメント/セグメントエディタ
 - リアルタイムセグメント
 - Profiles API Token
 - 予測スコアリング
 - ジャーニーオーケストレーション
 - バックエンドのテーブルとワークフロー一覧

前提条件

オーディエンススタジオを知っている、触ったことがある方の受講を強く推奨します。オーディエンススタジオ活用コースの内容（各機能の基礎知識）を前提としますので、本コースの受講者は活用コースの講義の受講または講義動画をご覧の上参加してください。

コースの内容

オリエンテーション

1. （オーディエンススタジオ活用編と共通）

オーディエンススタジオ活用：基礎編

- オーディエンススタジオの立ち位置
- TREASUREBIKES ツアー/バッチセグメント作成
- ペアレントセグメント紹介
- オーディエンススタジオ活用：応用編
- データエンリッチメントの活用
- ジャーニーの活用
- 予測スコアリングの活用
- ネクスト・ベストの活用

オーディエンススタジオ実装編

1. ペアレントセグメント / データエンリッチメント

- ペアレントセグメントの構成-アトリビュート
- ペアレントセグメントの構成-ビヘイビア
- データエンリッチメント
- ペアレントセグメント

2. ペアレントセグメント/データエンリッチメント

- ペアレントセグメントの構成
- データエンリッチメント
- ペアレントセグメント
- cdp_customer_id について

3. リアルタイムセグメント

- リアルタイムセグメントとは
- リアルタイムセグメントに使用できるルール
- リアルタイムセグメントの PAPI バックエンド理解
- リアルタイムセグメントに関連するワークフロー
- リアルタイムセグメントの作成

4. Profiles API Token

- Profiles API Token とは
- バッチセグメントの PAPI バックエンド図解
- Profiles API Token に関連するワークフロー
- トークンワークフローの結果

5. 予測スコアリング

- モデル学習時の特徴量に設定できる項目
- 利用できる特徴量を増やす
- 推奨の特徴量を利用
- 予測スコアリングのバックエンド
- 予測スコアリングのワークフロー
- バックエンドで作成されるテーブル
- モデルの評価メトリクス

6. ジャーニーオーケストレーション

- ジャーニーオーケストレーションとは
- 利用者向けガイド
- プロファイルの状態の把握

7. アクティベーション

- アウトプットマッピング
- アクティベーションの Workflow

8. バックエンドのテーブル、ワークフロー一覧

コースの概要は、技術の進歩や、製品の変化に応じて変更されることがあります。特定の目的やテーマについてのご質問や確認は、トレジャーアカデミー事務局 (jp-training-academy@treasure-data.com)までお問い合わせください。